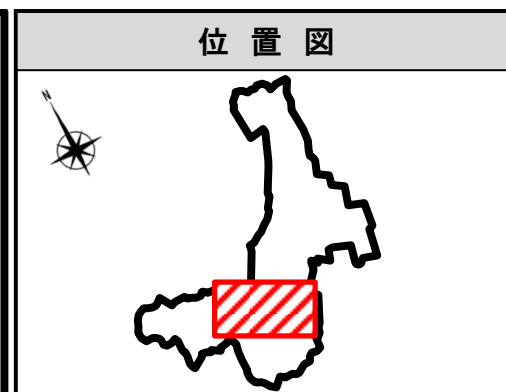
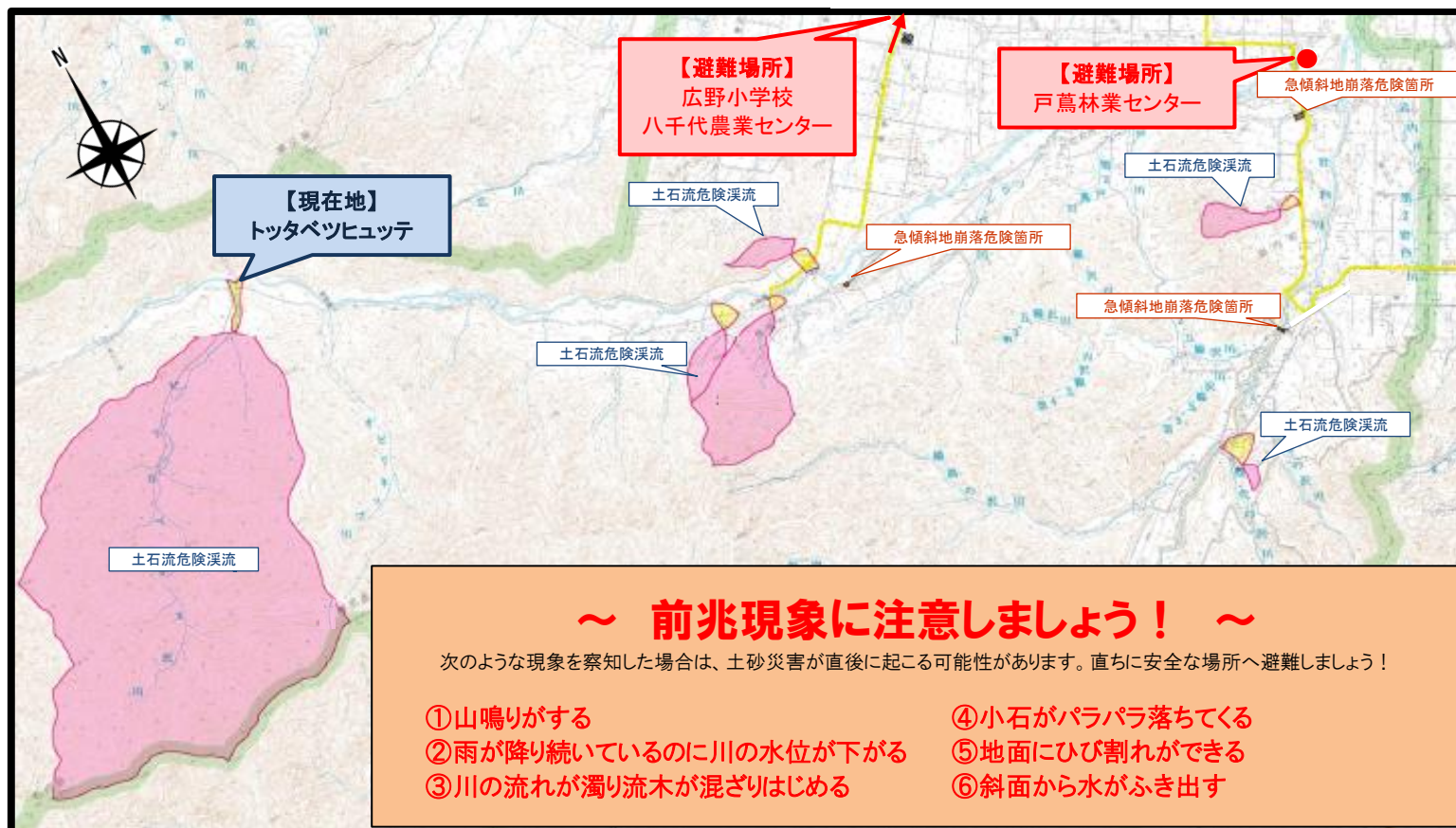


帯広市土砂災害危険箇所図

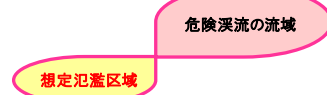
この地図は、大雨災害等により土砂崩れ等が発生する恐れのある土砂災害危険箇所図を示したものです。雨が降り続いた場合や地震が起きた際には、地盤がゆるんだりして土砂災害が発生する危険性が高まります。万一災害が発生した場合に備え、避難場所への経路などを事前に確認しましょう。



凡例

土石流危険渓流

土石流の発生危険性があり、1戸以上の人家等に被害を生ずる恐れがある渓流。



急傾斜地崩落危険箇所

傾斜度30度以上、高さ5メートル以上の急傾斜地で、1戸以上の人家等に被害を及ぼすおそれのある箇所。



～ 前兆現象に注意しましょう！ ～

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに安全な場所へ避難しましょう！

① 山鳴りがする	④ 小石がパラパラ落ちてくる
② 雨が降り続けているのに川の水位が下がる	⑤ 地面にひび割れができる
③ 川の流が濁り流木が混ざりはじめる	⑥ 斜面から水がふき出す

雨に注意しましょう

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。一般に1時間に20ミリ以上、または雨が降り始めてから100ミリ以上になったら十分な注意が必要です。

逃げ方を覚えましょう

土石流は流れる速度が速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げるようにしましょう。

避難場所を確認しておきましょう

日頃から家族で避難場所や避難経路を確認しておきましょう。そうすれば、家族が一緒にいないときでも、避難場所で落ち合うことができます。

土砂災害警戒情報について

大雨による土砂災害発生危険度が非常に高まったときに、北海道と気象庁が共同で発表する防災情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら状況に応じて早めの避難を心がけましょう。

【お問い合わせ】

帯広市 総務課 防災係
電話 65-4103

【土砂災害に関するお問い合わせ】

十勝総合振興局
帯広建設管理部
治水課 防災係
電話 26-9221